

社明パレード

12月4日(日)に、「社会を明るくする運動」のパレードが、地域の方々に見守られながら開催されました。鼓笛隊用の白い衣装を着て演奏しました。パレードは、南千住第二中学校から出発しジョイフル三ノ輪を抜け、第一中学校までの約1.5キロの道のりでした。沿道には三瑞小の子供たちをはじめ、保護者の方や卒業生もたくさんかけつけ、応援してくれていました。民家の間や商店街を通った時には、地域の方々が、間近に聴く子供たちの演奏に微笑みながら温かい拍手をしてくださいました。重い楽器を持って1時間近く演奏し続けた6年生は、とても誇らしく見えました。

様々な行事の合間を縫い、授業や休み時間に少しずつ譜読みをしながら練習を重ねてきた6年生。この日、三瑞小の伝統のバトンを後輩たちにしっかりつなぐことができました。



伝統文化（席書会）

1月11、12、13日に席書会が各学年行われました。1年の始まりに、今年はどんな一年にしたいのか、それぞれの思いを胸に、静かに取り組みました。1・2年生は硬筆、3年生以上は、だるま筆を使って毛筆に取り組みました。穂先の動きと点画のつながりを意識しました。12月から練習を重ね、その成果が発揮できるよう一生懸命取り組みました。高学年にもなると一段と大きく力強く書くことができるようになり、毛筆作品からも子供達の成長を感じることができました。



伝統文化（お箏教室）

本校では5年生を中心にお箏の授業を行ってきました。3年前から、新型コロナの感染予防の取り組みの工夫の一つとして、歌唱や器楽の演奏に代わって当時の3年生以上の音楽の授業で触れてきました。『さくら』から始まり、『たこたこ』『メリーさんの羊』『ぞうさん』の演奏にも挑戦しました。お箏は五音音階（5種類の音）で調弦されており、どこを弾いても美しい音色ばかりがなる楽器です。今年度は天才箏曲家の宮城道雄の生涯から学び、5・6年生では、様々な奏法を取り入れて自由な発想で演奏するという発展的な学習「音楽づくり」（即興創作）に挑戦をしました。国際的な未来を生きる子供たちが、我が国の古き良き伝統音楽に触れることで、諸外国の文化も同じように知り、親しむことができるようになってもらいたいと願っています。

伝統文化（百人一首）

百人一首大会（1/21）が開催されました。毎年、5年生対6年生で行われる三瑞小の伝統行事の一つです。本番まで、たくさんの札を覚え、練習を積み重ねてきました。今年も成果を発揮しようと、静けさの中に、百枚の札を真剣に取り合う熱い姿が見られました。日本の伝統文化に触れる楽しさと共に仲間と協力することや努力を重ねることの大切さにも気付くことができました。大変良い経験になりました。

